

武雄市文化会館が生まれ変わります

武雄市新文化交流施設エリア

完成 基本設計概要版

現在、市では、令和5年3月に策定した基本計画に基づき、新たな文化交流施設エリアとして武雄市文化会館の再整備を進めています。整備にあたり、大ホール棟は改修による長寿命化を図り、成人棟、集会棟、小ホール棟は解体し、新文化交流棟へと生まれ変わります。このたび、新文化交流棟及び外部空間の基本設計がまとまりましたのでお知らせします。



Check
たけお
ポータル

新文化交流棟は令和9年春頃、大ホール棟は令和9年秋頃の開館を目指して整備を進めていきます。



市民の皆さんの日常の拠点

旧鍋島庭園や周囲の魅力的な景観とつながる空間とします。これまで培われた文化や歴史と、様々な文化・アートが融合しながら新たな価値や交流を生み出し、敷地内外で居場所とにぎわいを創出する拠点を目指します。



居場所となり交流が生まれる空間

会議室だけでなく、多目的ホールやスタジオなど日常的な活動・交流の場となる諸室を設けます。また、開放的な共用部は、誰もが気軽に利用できる場として、皆さんの居場所となり交流が生まれる空間とします。壁面には『すきまギャラリー』を設け、気軽にアートに触れられる空間とします。

休館のお知らせ

新文化交流施設エリア整備のため、下記の期間はご利用いただけません。現在ご利用されている方や今後利用を予定されている方には大変ご迷惑おかけしますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

● 文化会館全館 休館 令和6年6月～

※ホールやその他諸室を含め6月利用分から新施設の開館まで予約受付ができませんのでご了承ください。

● 武雄公民館

5月まで現状のまま開館します。6月から新施設の開館までは勤労青少年ホーム棟を仮設公民館として開館します。※勤労青少年ホームは5月まで通常どおりご利用いただけます。

03

文化の結び目

昔から残るものを継承しながら、創作活動やイベントなど新しい文化を生み出すことができるような文化の結び目となる場づくりを目指します。また、塚崎の大楠や図書館・歴史資料館などの周辺施設との動線を整え、回遊性と利便性の向上を図ります。

